



熊本県版

No. 239

治安維持法犠牲者

国家賠償要求同盟

熊本県本部

〒862-0954

熊本市中央区神水

1-30-7 コモン神水

☎096-381-1807

## 故・増本会長の遺志を受け継ぎ

# 「2万人同盟」建設で第40回大会を成功させよう！

治安維持法同盟は3月9日、今年初めての中央常任理事会をオンライン併用で開催しました。

常任理事会では冒頭、2月6日に急逝された故・増本一彦会長へ黙禱を捧げ、増本会長が亡くなる直前まで気にかけていた「2万人の同盟を建設して6月の第40回全国大会を成功させる」決意を全員で固めました。（別紙参照）

また、ロシアのウクライナに対する軍事侵略を厳しく糾弾し、直ちに侵略を中止し、撤退することを強く求めました。

会議ではとくに、「2万人同盟」の建設にとって、映画『わが青春つきるとも―伊藤千代子の生涯』の上映運動と結びつけることの重要性が強調されました。

### 運動の基本

- 一、 果たたび戦争と暗黒政治を許さないために
- 二、 治安維持法体制の復活に反対する。
- 三、 国は戦前の治安維持法が人道に反する悪法であることを認めること。
- 四、 国は、治安維持法の犠牲者に謝罪と賠償を行うこと。

同時に、上映債券5000口、5千万円を超えて大きく広がったある映画『伊藤千代子の生涯』の上映運動と、同盟員拡大、同盟建設をどう結び付け、両方とも成功させるためにはひと工夫も、ふた工夫も必要であることが議論されました。各常任理事からは、上映運動を成功させるためには多くの団体、個人を結集した幅広い実行委員会を中心にした活動が大切になるが、それだけでは同盟員は増えない、その中で同盟の県本部、支部、同盟員が目標と計画をきちんと持って、目的意識的に個別に入会を働きかけることが大事であることが強調されました。

## 5人拡大、10人拡大した同盟員を表彰

常任理事会では、創立50周年記念特別期間のとき大きな力を発揮した「5人拡大」「10人拡大」した同盟員と、自主目標を達成した県本部と支部を表彰すること、その「チャレンジャー」を募ることを決定しました。

期間は1月1日から6月30日まで。熊本県ではすでに渡邊靖弘さんが4人、浪床一男さんが2人を拡大し、渡辺さんは「10人拡大に挑戦する」と表明しています。

### 熊本県本部はあと4人で200人達成

熊本県本部の同盟員は3月15日現在196人で、故西里竜夫さん達が1979年に県本部を結成した時からの目標である「200人」まであと4人に迫っています。200人を越えれば、6月の全国大会に代議員を2人送り出すこともできるようになります。みなさんのご協力をよろしくお願いいたします。

### 今年の国会請願行動は5月11日(水)

同盟のもう一つの大きな課題である国会請願署名について、対面での活動にならざるを得ない署名活動が、コロナの関係で困難になっていることもあってここ数年、20万筆を下回

る状況が続いています。大きな集会等で一気に集めることは困難ですので、会員一人一人が家族や友人知人に訴えてコツコツと集めるほかありません。会員のみなさんのご協力をよろしくお願いいたします。

### あの日を考える 3月15日

1928年3月15日、伊藤千代子は赤旗4号の原稿を印刷所に届けに行き、特高の張り込みにあい検挙されました。1925年に制定された治安維持法を日本共産党壊滅に適用し、全国で一斉に1600人余りが検挙されました。いわゆる3・15事件です。

梶原さんの『地下水、その噴き出ざるを願って』によれば、熊本でも永村徳次郎はじめ数十人が検挙され特高の凄惨な拷問、取り調べを受けています。県下では実刑は永村だけでしたが、拷問と長期の拘禁により、廃人にされてしまいました。

2020年代は極めて不安定な時代となっています。戦争と暗黒政治の時代を繰り返さないためにも、映画『伊藤千代子』の上映運動を成功させましょう。

千代子23歳、徳次郎27歳の時のことです。

## ロシアのウクライナ侵略を糾弾!

### 安部元首相らの「9条改憲」「核共有」主張にも抗議

熊本市辛島公園で250人が「緊急抗議座り込み」

ロシアのウクライナ侵略への抗議が全世界に広がる中、熊本でも3月3日、熊本市の辛島公園で緊急の「抗議座り込み」が取り生まれ、約250人が「ロシアは直ちにウクライナから撤退せよ」「侵略やめろ」「戦争反対」と怒りの声をあげました。治安維持法同盟からも小田県本部会長や渡邊県本部事務局次長らが参加しました。

座り込みでは参加者がつきつぎにマイクを握り、核兵器の使用をちらかせながら隣国を戦車で傍若無人に蹂躪しているロシア・プーチン政権の国際法も国連憲章も踏みにじった暴挙をきびしく糾弾しました。

同時にこのロシアの蛮行に乗じて安部元首相や松井維新代表らが、日本もいつまでも「非核三原則」などと言っていないで、アメリカの核兵器を日本国内に配備して米軍と自衛隊が共同で管理運用する「核共有(ニュークリアシェアリング)」に踏み切るべきだ、憲法9条を変えて「敵基地攻撃能力を持

つべきだ」と主張し始めていることに激しい怒りの声が相次ぎました。そして、今こそ「紛争の平和的解決」を規定した国連憲章と日本国憲法9条の精神を生かし、平和的外交で侵略者プーチンを国際的に包囲し、侵略の中止を迫ってほしいと呼びかけました。

また立憲民主党鎌田県連代表、日本共産党松岡県委員長、社民党今泉県連代表、新社会党岩中県委員長の4野党代表がそれぞれ決意を表明しました。

各代表は、「市民と野党の共闘」をよりいっそうつよめ7月の参院選では熊本を含む32の一人区で野党候補者を一本化し、必ず勝利し、9条改憲を許さず、平和と国民の命、暮らしを守る政治に転換しようと呼びました。

### 人吉くま地方での上映成功をめざして

#### 『伊藤千代子』上映実行委員会立ち上げ

昨年から国賠同盟人吉くま支部が中心となって準備を進めてきた映画『わが青春つきるとも』伊藤千代子の生涯』人吉くま上映実行委員会の結成総会が3月6日、人吉市で開かれ、

13人が参加し、参加者全員が実行委員になって正式に実行委員会を発足させました。

国賠同盟人吉くま支部はすでに支部として映画『伊藤千代子の生涯』の上映債権を確保しており、人吉市やあさぎり町などでの上映をめざし、日時と会場を早急に決め、取り組みを具体化することを確認しました。

### 3月地方議員選挙

#### 国賠同盟会員3人が立候補

## 「祈必勝」の為書き送る

3月27日投票の3つの地方議員選挙に国賠同盟会員が3人立候補し、当選をめざして奮闘しています。

天草市議選 養田庸子さん(新)

芦北町議選 坂本 登さん(現)

和水町議選 笹渕賢吾さん(元)

の3人です。

国賠同盟県本部では同盟会員の必勝を願って、「祈必勝」と大書した為書きを各選挙事務所に送りました。



(写真は、右から芦北町の坂本町議、国賠同盟渡邊事務局次長、末松選対長、山本県議)